

日本国際経済学会第 80 回全国大会

第 7 分科会 国際貿易（実証）II

## 軍事対立と文化的財の貿易

### —過去の戦争が二国間貿易に与える影響—

報告者 王思維（学習院大学博士課程）

#### 要旨

近年、情報技術の発展に伴い、文化的財の複製や伝達は従来よりも容易になっており、国境を越えた文化的財の取引、すなわち文化的財の貿易が今後ますます活発になると考えられる。本研究は、文化的財の国際貿易に注目し、その決定要因の一つに過去の戦争や軍事対立があるとの仮説をたて、過去のデータを用いて実証分析を行う。また、戦争が貿易全体に与える影響と文化的財に与える影響を比較することにより、文化的財の貿易の特徴を昭会にする。重力方程式を用いて、ポワソン疑似最尤推定法により分析を行った結果、多くの場合に戦争は文化的財の輸出にプラスに影響を与えており、そのインパクトは全体の貿易に対するものよりも大きいことがわかった。また、文化的財の分類によって戦争の影響も異なり、特に一对一の戦争や軍事対立は文化的財の貿易に有意でマイナスの影響を与えている一方、貿易全体には有意な影響を与えていないことが分かった。

キーワード：文化的財、戦争、軍事対立、重力方程式、ポワソン疑似最尤推定法